

平成28年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①生徒の学習意欲を高め、目的をもち、主体的に学習に取り組む自立した学習者を育てる。 ②生徒の自立心を育成するために、学校行事、生徒会活動等を活性化させる。	①「逆さま歴史教育」の研究やアクティブラーニングを中心にした授業改善を進める。 ②文化祭や40周年行事をとおして生徒が計画的に行事の企画運営ができるようにする。	①アクティブラーニングの研修を充実させ、職員の理解を進める。また、各教科でアクティブラーニングについての取り組み方を研究する。 ②生徒のリーダーシップを育成するための研修を行う。	①アクティブラーニングの研修を年間をとおして複数回実施したか。 ②研修等をとおして生徒へのアプローチが変わったか。					
2 (幼児・児童・)生徒指導・支援	①社会性を身につけるために、基本的な生活習慣の確立を図る。 ②部活動を活性化し、充実感や達成感を得ることにより、自己肯定感を高める。 ③生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図る。	①職員が共通認識をもつて、生徒指導にあたり、継続指導を要する生徒をなくす。 ③生徒の情報を共有し、生徒支援に活かす。	①現在の基準を見直し、全職員の共通理解を図り、同一基準での指導を徹底させる。 ③職員の気づきを大切にして定期的に情報を共有し、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーをはじめ関係諸機関とチームで支援を行う。	①基準の見直しができただか。また同一基準で頭髪・服装・遅刻指導対象者をゼロにできたか。 ③ケース会議等の取り組みが、支援の必要な生徒の指導に活かされ、課題解決につながったか。					
3 進路指導・支援	①情報を活用し、自分の将来を設計する力を育む。 ②自分の将来に向けて、希望の進路を実現するために、よりよい選択・決定ができる力を育む。	①「総合的な学習の時間」の充実を図り、学年進行に応じた明確な進路意識をもたせるようにする。	①目的意識をもって進路を決定できるように「総合的な学習の時間」の中で適切な時期に効果的な進路学習会、説明会、ガイダンスを行う。	①生徒一人ひとりの将来の職業意識を高める進路学習会、説明会、ガイダンスを実施できたか。					

4	地域等との協働	<p>①豊かな人間性を育むために、地域等の教育力を活用し、協働を推進する。</p> <p>②地域等に貢献し愛される学校づくりを行う。</p>	<p>①ボランティアや地域の活動に積極的に参加する。</p>	<p>①ボランティアや地域に貢献する活動に取り組む組織をつくる。</p>	<p>①ボランティア活動や地域に貢献する活動への参加意識を高める組織づくりができたか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>①信頼・期待される学校づくりを行うために、教育活動に対する意見を尊重し、事故・不祥事ゼロをめざす。</p> <p>②生徒の安全な学習環境の整備を行う。</p>	<p>①生徒・保護者のニーズを把握し、教育活動に反映させる。</p> <p>②全校的な教室整備に努め、防災教育を進める。</p>	<p>①「学校教育に関するアンケート」や保護者懇談会、三者面談の機会を使って情報を収集する。</p> <p>②教室整備の徹底、及び生徒の防災委員会を立ち上げる。</p>	<p>①ニーズを把握し、必要な改善策を打ち出すことができたか。</p> <p>②日常的に教室が整備されているか。生徒の防災委員会の活動を支援できたか。</p>					